

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 03年 02月 25日

事業所名 放課後等デイサービス きらり高木瀬

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2		3	活動内容を分け、分散化を図っている	部屋を広くすることは難しいので、物を多く置かないようして1つの活動をみんなで行うのではなく、少人数で室内をまんべんなく使うように配慮している
	2	職員の配置数は適切である		1	4	利用人数やお子様の特性、サポート内容に配慮し人員配置を行っている	療育を受けるお子様の特性に合わせて人員数は多く配置したほうが良いと考える為、人材確保をしていきたい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2		3	日常生活における障害物と捉え、お子様には危険予測の練習を行っている	完全バリアフリー化は現実的に厳しい状況ではあるが、安全第一で支援の提供を行っていく
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1		日頃よりお子様の状況に目を配り今必要とする支援について話し合い、支援に繋げるようにしている	2回/月の支援会議を開催し、話し合い支援の統一化に繋げるようにしている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	2		保護者様よりご意見いただいた内容で出来る限り改善に努めた	利用料金袋の作成と活用に繋げた活動内容や防災グッズなどの情報をホームページやきらり通信を活用し周知していく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		1	きらり通信にてホームページに公表を公開した際は、お知らせしている	引き続き実施し、周知していきたい
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			5	外部評価を行っていない	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2		3	感染症流行の為、研修に参加することが難しかった	支援会議やミーティングの際に関わり方や支援内容の確認、向上できるように意識した
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			モニタリングや送迎時に保護者様とコミュニケーションを図り何を必要としているのか見極め支援に繋げるようにした	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	3		アセスメントシートを使用している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		支援会議の際に実施	引き続き全職員で立案し、支援を提供していく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1		全職員で活動内容を検討しながらしている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			平日でできること、休日だからできることなど細かく決めながら個別スケジュールなどを活用し支援を提供している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			お子様の特性を見極め、状況に合わせて組み合わせている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			スムーズに支援が遂行出来るように行っている	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3		2	支援終了時まで送迎が立て込んでいるため、必要最低限の情報共有を行い、翌日のミーティングの際に再度情報共有を図っている	全職員が同じ勤務時間ではない為、支援終了後の打ち合わせは現実的に厳しい状況ではあるが、確実に情報共有が出来るよう考慮している
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1		個別支援活動記録をミーティング時に共有し、検証・改善に努めている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1		2回/月の支援会議の際に見直しを実施	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	1	4			職員にも分かりやすいように周知する
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1		児童発達支援管理責任者が参加している	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5			学校によって対応に違いはあるが、担任の先生との連絡調整が出来ている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2	1	本事業所では医療行為は出来ない	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	2	1	会を開かれることもあるが、保護者様や相談支援専門員を通し、情報収集を行うことが多い	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5			本年度、移行支援会議に初参加し情報提供を行った	本人さん参加の会だった為、日頃より使用している課題や物を持参し情報提供に努めた
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		1	4	保護者様と通して、主治医の意見などを参考にしている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			5	公共施設を利用する場合は活動を共にしている	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2		3		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			共通理解が出来るようにきちんと報告/相談/連絡を行うようにしている	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	1	3	日頃より保護者様と接する全職員たちは保護者様の気持ちに寄り添い接するようにしている		

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			極力分かりやすいような方法で行っている	細かな声掛けと説明を行い支援を行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1		送迎の際に出た話は持ち帰り職員間で共有し支援に繋げるようにしている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	1	昼の部・夜の部を行ったが、本年度はコロナウイルス感染予防の為、開催することが難しかった	きらりのホームページなどで、契約者の方のみのコミュニティが取れたり、お子様の様子などが視聴できるか検討していきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	2		お声をいただいた際は、精一杯対応する	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		1	きらり通信やホームページの更新をしながら発信している	
	35	個人情報に十分注意している	5			個人情報の取り扱いについて社外への持ち出し禁止、会議で使用する際は児発管以外の職員に報告し参加をしている また鍵付き収納棚にて保管をしている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1		使う言葉も気かけながら接するようにしている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			5	行っていないが、会った時は子どもも職員も挨拶を行っている 近所の方はよく声を掛けてくれる	日頃よりお世話になっているご近所の方を招いて何かしたいが、感染予防対策の為、厳しい状況である
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		2	3		現在活用しているマニュアルをお知らせプリントにて周知をしていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			2回/年、実施をしている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	2	1	ニュースになったことや県による出前講座で実施	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		4	1	現在身体拘束を行う事例がないが、実際に起こりうる場合は慎重に動きたい	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		5		診断を受けていないが可能性のあるお子様がいる為、細心の注意を払って支援の提供を行っている	現在診断を受けていないが可能性のあるお子様がおり、調理活動にはその食材を使わずに対応をしている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2		業務日誌や個別記録にも詳細を記載 ミーティング時に情報共有をしている	